

くらし 家庭

年度	年齢	各月の年金記録の情報											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成15年度	20歳	/	/	/	/	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年
平成16年度	21歳	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年
平成17年度	22歳	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年	国年
平成18年度	23歳	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年
平成19年度	24歳	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年
平成20年度	25歳	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年
平成21年度	26歳	給保	給保	給保	給保	給保	重放	重放	重放	厚年	厚年	厚年	厚年
平成22年度	27歳	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年	厚年

ねんきんネットで見られる年金記録の一例

インターネット上で自分の年金記録を確認できる「ねんきんネット」のサービスが始まっている。秋以降は、将来の年金額が試算できるなど、さらに便利になる見込み。今年4月以降に届く「ねんきん定期便」に記された番号を使うと、手軽に利用できる。

年金記録 ネットで確認

年金記録は、毎年1回、加入者の誕生日に郵送されるねんきん定期便で確認できる。ただし、年金制度加入以来の詳しい記録が記載されるのは、35歳、45歳、58歳の人だけ。それ以外の人の定期便には直近1年分の記録しか載っておらず、全体を把握するのは難しい。

日本年金機構のホームページ(<http://www.nenkin.go.jp>)上に2月に開設された「ねんきんネット」なら、この加入記録の全てをいつでも確認できる。記録は毎月更新されるので、最新のを随時チェックできる。国民年金の未納期間は朱書きされているなど、確認が必要

年金機構HP 全部いつでも

な部分がわかりやすくなっている。千葉県在住の主婦(44)は、ねんきんネットで、会社員時代や、専業主婦となつてからの記録を全て確認した。「記録漏れなどがないと改めて確認できて、安心した」と話す。主婦がねんきんネットに接続

する際に利用したのは、4月に届いたねんきん定期便だ。そこに「アクセスキー」と呼ばれる17けたの数字があった。今年4月以降の定期便には、このアクセスキーが記載されており、ホームページ上でこの番号と基礎年金番号、メールアドレスなどを入力すると、即座にIDが発行される。

定すれば、自分の年金記録が閲覧できる。ただし、このアクセスキーは到着後3か月程度で使えなくなる。定期便が届くまで待てない場合、ホームページ上で登録手続きをすることで、5日ほどでIDとパスワードが取得できる。アクセスキーが期限切れになっ

た人も、同様の手続きで利用できるようになる。

同機構は「自分が年金をいくらもらえるかという見込み額の試算ができる機能を、今秋をめぐりに追加する予定」と話す。定期便では、50歳以上に限り、将来の年金見込み額を掲載しているが、ネットでは40代以下でも見込み額の算出ができるようになる。また、60歳以降に働きたがら年金を受け取る「在職老齢年金」の金額や、年金を早めに受け取る「繰り上げ受給」の額なども試算可能にするという。

社会保険労務士の東海林正昭さんは「年金記録の間違いに早く気付くのに、ねんきんネットは有効。定期便が届いたら、できるだけ早く使ってみてほしい」と話す。